

Course number		U-LAS01 10001 LJ38					
Course title (and course title in English)		日本史 I Japanese History I		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,YOSHIE TAKASHI	
Group	Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		History and Civilization(Foundations)		
Language of instruction	Japanese		Old group	Group A		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters	2024・First semester	
Days and periods	Mon.2		Target year	All students		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
日本古代政治史の研究―律令国家の成立― 日本における古代国家の様相を政治史という側面から把握し、古代日本の特質について理解することを目的とする。今期は、古代国家の形成から7世紀後葉の律令国家成立までの種々の事象を取り上げ、先行学説を紹介するとともに批判的に検証を行う。こうした作業を通じて、国家の様相やその変遷を客観的に捉える視座を養うことを目指す。							
[Course objectives]							
日本古代史における正確で幅広い知識を獲得するとともに、これまでの研究の流れを自分の力で整理し、それらを客観的・批判的に把握して、自らの歴史像を組み立てるための技術を習得する。							
[Course schedule and contents]]							
7世紀後葉に成立した日本の律令国家は、唐から導入した律令制を基盤に置いた国家であったが、先進的な制度・文化が採用された一方で、古墳時代以来の古来の伝統も色濃く残していた。今期は、そうした日本の特殊性を把握することを目的に、律令国家の形成過程について、古墳時代から順を追って整理する。まずは古墳秩序と国家の形成に関する議論や部民制についての議論を紹介し、成立期の国家の様相を検討する。次いで、大化改新の歴史的な位置付けを概観し、支配秩序の確立を天皇の存在に着目しながら考察する。最後に、律令国家形成の上で鍵となる壬申の乱を国際秩序の変容という観点から論じ、日本の律令国家における特殊性の把握につとめる。							
第1回 イントロダクション―日本における古代とは― 第2回 古墳の秩序と国家形成（1） 第3回 古墳の秩序と国家形成（2） 第4回 治天下大王の統治（1） 第5回 治天下大王の統治（2） 第6回 王位継承の変遷（1） 第7回 王位継承の変遷（2） 第8回 大化改新の歴史的な位置（1） 第9回 大化改新の歴史的な位置（2） 第10回 天皇号の成立（1） 第11回 天皇号の成立（2） 第12回 国際秩序の変容と壬申の乱（1） 第13回 国際秩序の変容と壬申の乱（2）							
-----Continue to 日本史Ⅰ(2)↓↓↓-----							

日本史Ⅰ(2)

第14回 総括
第15回 期末試験／学習到達度の評価
第16回 フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

期末試験（筆記）にて成績評価する。

[Textbooks]

Not used

授業中にプリントを配布する。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業の進行はシラバスに記載の通りであるので、授業の進行を確認の上、各回の授業内容を想定し、予習をすることが望ましい。

[Other information (office hours, etc.)]

授業は講義形式で行い、PowerPointを使用する。